

## 健康長寿に係る先進的な取組事例(概要版)

## 南古谷地区活動 広がるふれあいの輪

運動

食

団地まるごと

その他

## 事業概要

南古谷地区は、地区の小中学校、大学、自治会、民生委員、社会福祉協議会、保健推進員、ボランティアなどが市と連携を図りながら、さまざまな地区活動や健康づくり活動を行っている。

## 事業内容(参加者数・予算等)

## ● 南古谷地区の活動イベント

学校と自治会が連携した防犯パトロール、児童生徒の見守り活動、あいさつ運動、ウォークラリー大会、農業体験等を実施

自治会、社会福祉協議会が主体となって世代間交流事業、ボランティア育成事業等を実施

南古谷地区人口 23,905人(平成25年1月1日現在)

## ● 保健推進員活動の実施(平成8年～)

南古谷支会より選出され、市より委嘱された保健推進員が主体となって介護予防教室、健康講座、介護予防自主グループ支援、健康じまんポスター展示など積極的に実施

健康情報を積極的に地区住民に発信している

南古谷地区では現在6名の推進員が活動

## 事業効果

- ソーシャルキャピタルの基盤はできている地区である。身近な自治集会所で子どもから高齢者までの地区活動を行うことで、世代間交流、健康意識の向上、孤立予防につながる。

## その他

- 地域の自主性に任せ、自助活動が活発であるが、国民健康保険における特定健診結果によると、高血圧率が高く特定保健指導実施率が低いという健康課題がある。また、新生児比率が高い。

今後は、健康課題に即し、活動評価を既存データなどを活用し、分析、効果の裏づけをしていく必要がある。

- 保健推進員の任期は2年となっている。任期終了後、再任されない方も在任中の経験を活かし地域の活動に貢献している。